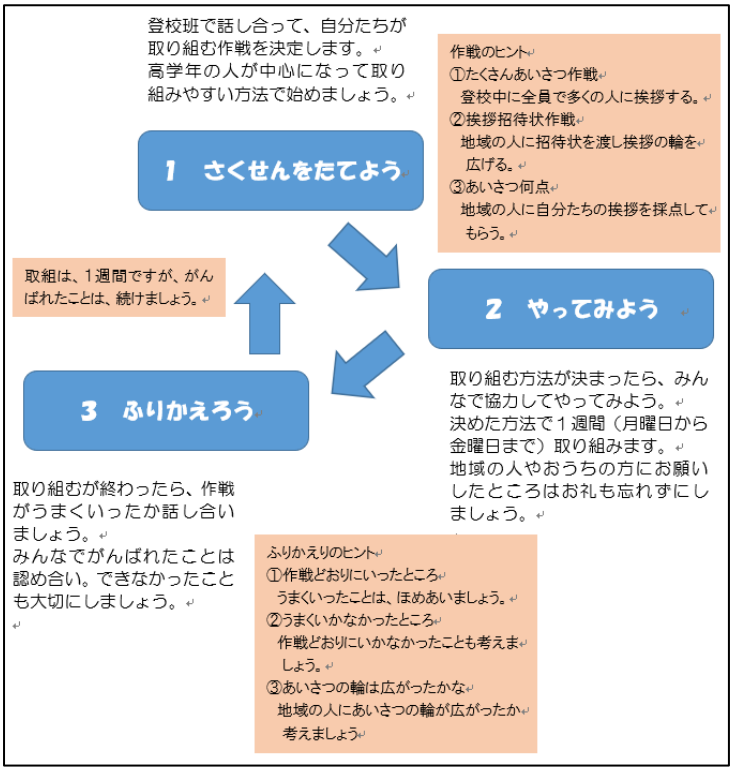
校 長 室 だ よ り（No.32）

令和５年２月23日
丹波市立黒井小学校長
谷口　千尋

黒井っ子　「あいさつトライやる・ウィーク」

一昨年度から黒井小学校学校運営協議会を中心に「あいさつ運動」に取り組んできています。子どもたちの通学路のなかに「あいさつ街道」を設定し、地域の方々と気持ちのよい挨拶を交わす場としてきました。コロナ禍により、人との対面での会話等を控えたためにこの運動を充実させることができていませんでした。（学校では、児童会が中心となって毎朝、あいさつ運動を続けてきました。）



新型コロナウイルス感染症の罹患者及び濃厚接触者が校内においても一定の減少がみられてきたことから３学期に「黒井っ子あいさつトライ・やる」を実施しています。期間は、２月21日（火曜日）から28日（火曜日）までの１週間です。

登校班ごとに高学年を中心に話し合い、実施期間中の取組を話し合いました。登校班ごとに地域の方、保護者の皆さんに協力いただくことを依頼に行き取組を始めています。児童が行った地域への放送でこの取組が地域の方にもよく伝わり多くの方に参加頂けているようです。

以前にも紹介しましたが「マズローの欲求５段階説」というものがあります。人間の欲求は下から①生理的欲求　②安全欲求　③社会的欲求　④尊厳欲求　⑤自己実現欲求の５つの段階があります。５段階のピラミッドで、底辺から始まり、その階が満たされると次の一つ上の欲求を目指すというものです。挨拶は、下から４つ目の「尊厳欲求」にあたると言われています。簡単に説明しますと、尊厳欲求（承認）とは、友だちや先生から認められたいという欲求です。この段階では「テストでいい点を取りたい」「みんなにほめてもらいたい」「速く走りたい」という自分の思いから動くようになります。承認には、相手の「行動」に対して行うもの（行動承認）と相手の「存在」について行うもの（存在承認）の２種類があります。行動承認は、「ほめる、叱る、評価する、表彰する、ねぎらう、お礼を言う」などで、存在承認は、「あいさつをする、名前を呼ぶ、変化に気づく、声をかける、目を合わせる、役割を与える、共感する」などです。

いよいよ来週のはじめには、この取組の結果がでます。地域の方とどのような「あいさつ」が交わせたのか子どもたちのまとめを楽しみにしています。